2025　建築士とめぐる京都　花街シリーズ

京都花街の都市史・建築史

京都府建築士会の会報誌『京都だより』（京都の"暮らし・まち・建築"をつなぐ、役立つ情報が詰まった知恵袋。住まいの工夫や地域の取り組み、イベント案内まで…読みながら"もっと京都が好きになる"一冊です。）で2021年から2023年に特集された「京都花街の都市史・建築史』から三つの地域を選び、座学とまち歩きを交互に、行う講座です。講師には京都美術工芸大学建築学部建築学科教授・井上年和氏をお迎えし、連続講座ならではの深い学びと実地体験を通じて、京都の街並みと、その歴史をより深く理解します。京都の文化と建築に興味のある方々のご参加をお待ちしております。

【北野の茶屋】

●第一回　8月23日（土）10時～12時
京都美術工芸大学にて座学
●第二回　9月27日（土）10時～12時
立本寺　集合　まちあるき
（京都府京都市上京区七本松通仁和寺街道上る一番町107）

京都の奥座敷として位置づけられる上七軒は、昔ながらの風習を残しつつ五花街の中でも最古といわれることもある。上七軒の発祥と形成過程を追うことで、神社や寺院の周囲で発生した「門前の系譜」を位置づける。

【祇園の茶屋と円山・霊山】

●第三回　10月19日（日）10時~12時
京都美術工芸大学にて座学
●第四回　11月22日（土）10時～12時
祇園甲部歌舞練場　集合　まちあるき
（京都府京都市東山区祇園町南側 570-2）

京都を代表する花街「祇園」。現在の八坂神社が祇園社と称したことに由来する。
参拝者のための茶屋や娯楽施設が建ち並び、大いに、にぎわいを呈する、この祇園社周辺における花街の変遷をたどる。

【消えた花街・橋本】

●第五回　2026年2月22日（日）10時~12時
京都美術工芸大学にて座学
●第六回　2026年3月21日（土）10時～12時
京阪橋本駅集合　まちあるき
（京都府八幡市橋本中ノ町）

江戸時代には大阪と京都を三十石船の客船が通り、宿場町や石清水八幡宮の参詣口として栄え、最盛期の昭和12年には貸座敷が86戸、芸妓3名、娼妓675名が在籍した場所。その繁栄と衰退をみる。

※第五回の日程が
変更になりました。
【変更後】2026年2月21日（土）

参加費　15,000円（6回連続講座）/単独講座1回3,000円

申込　お申込みはQRコードか下記URLより お願いします

https://www.kyotofu-kenchikushikai.jp/K008/regist.php
（一社）京都府建築士会のHPイベント申込フォームにアクセスします。是非登録ください。

申込QRコード

締切　8月10日（日）（6回連続講座）
リアルご参加の定員40名（定員に達し次第締め切ります。）
単独講座については、開催2週間前まで受付ます。
ご不明点は、下記事務局か担当までご連絡ください。

担当＝まちづくり委員会　渡邉090-9623-3345

お申込みいただいた方には、振込先および詳細なスケジュールをメールにてお送りします。ご案内する期日までに参加費のお振込みをお願いいたします。なお、振込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。ご入金後のキャンセル・欠席による返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。座学はWEB視聴（Zoom）も可能です。Zoomでご参加の方には、遅くとも開催2日前までにIDと接続情報をお送りいたします。

【主催】一般社団法人 京都府建築士会
〒604-0944 京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町641 京都建設会館別館2F
TEL：075-211-2857　FAX：075-255-6077　MAIL：contact@kyoto-kenchikushikai.jp

第一回・二回
北野の茶屋

第三回・四回
祇園の茶屋と円山・霊山

第五回・六回
消えた花街・橋本